水性反応硬化形軒天専用塗料

ノキテンエース

改修塗装時には、シーラーレスで塗装可能な省工程軒天専用つや消し塗料です。(※1)

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

※平滑仕上げのみ対象

ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

※1 旧塗膜が活膜の場合に限ります。劣化が進行し、表面が粉化している場合や吸込みが著しい場合には、水性カチオンシーラーを必ずご使用ください。

■特長

①省工程
改修塗装時に旧塗膜が活膜の場合には、シーラー塗装工程が不要で、上塗り塗料を直接塗装することが可能です。(※1)

②厚膜性
ローラーでの厚膜仕上げが可能なことから、旧塗膜剥離箇所等の不陸を緩和します。(※2)

※2 素地が露出している場合には、水性カチオンシーラーを必ずご使用ください。

③透湿性
塗膜には透湿性がありますので、背面からの水分の影響を緩和し、膨れや剥離を抑制します。

④微弾性
微弾性塗膜なので、下地のヘヤクラックに追従します。

⑤高耐久性
水性反応硬化形なので、各種旧塗膜への密着性に優れ、一般水性塗料と比較し、優れた耐久性を発揮します。

⑥防藻・防かび性
藻やかびの発生を抑制し、建物の美観を維持します。

■用途
戸建住宅・マンションなどの軒天井・上裏など

■適用下地
新設適用下地：コンクリート・モルタル・スレート板
けい酸カルシウム板などの各種素材
改修適用下地：上記各種素材面のアクリルリシン・
合成樹脂エマルションペイント・その他各種旧塗膜

■標準塗装仕様

【改修塗装仕様】

平滑仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。粉化物、ほこり、よごれを除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り	ノキテンエース	2	0.30〜0.40	2時間以上	水道水	0〜2	はけ、ウールローラー

ゆず肌(ライトウェーブ)模様仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。粉化物、ほこり、よごれを除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り	ノキテンエース	1	0.60〜1.00	2時間以上	水道水	0〜2	砂骨ローラー(細目)

【新設塗装仕様】

平滑仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9以下)						
下塗り	水性カチオンシーラー(ホワイト・透明)	1	0.10〜0.16 0.12〜0.16	4時間以上	水道水	ホワイト 0〜10 透明 無希釈	はけ、ウールローラー エアレススプレー
上塗り	ノキテンエース	2	0.30〜0.40	2時間以上	水道水	0〜2	はけ、ウールローラー

ゆず肌(ライトウェーブ)模様仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9以下)						
下塗り	水性カチオンシーラー(ホワイト・透明)	1	0.10〜0.16 0.12〜0.16	4時間以上	水道水	ホワイト 0〜10 透明 無希釈	はけ、ウールローラー エアレススプレー
上塗り	ノキテンエース	1	0.60〜1.00	2時間以上	水道水	0〜2	砂骨ローラー(細目)

★上記の各数値はすべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
★塗料の塗り重ねは所定の塗り重ねを乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
★防火認定は平滑仕上げのみ対象となります。

ニッペ ノキテンエース

■塗装基準

仕上げ	平滑	ゆず肌(ライトウェーブ)模様
塗装方法	はけ、ウールローラー塗り	砂骨ローラー(細目)塗り
希釈率	0〜2%	0〜2%
使用量	0.30〜0.40kg/㎡/回	0.60〜1.00kg/㎡/回
1缶あたりの塗装面積	25〜33㎡/2回	20〜33㎡/回

★はけ、ウールローラーでの塗付け量は、0.20〜0.25kg/㎡/回(2回塗仕上げ)です。
★砂骨ローラー(細目)での塗付け量は、0.50〜0.80kg/㎡/回(1回塗仕上げ)です。
★使用量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量
★塗付け量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

■塗り重ね乾燥時間

	5〜10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	5時間以上	2時間以上	1時間以上

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

■容量・荷姿

塗 料 名	系 統	容 量	色 相	つ や
ノキテンエース	水性反応硬化形軒天専用塗料	20kg	各 色	つや消し

■塗膜性能

試験項目	規 格	性 能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。	合格
低温安定性(−5℃)	変質してはならない。	合格
乾燥時間	2時間以内(標準状態)、4時間以内(5℃)	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする。	合格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする。	合格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする。	合格
促進耐候性	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格
屋外暴露耐候性	12か月間の試験で塗膜に膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格

※上記結果は、JISK5663に基づく弊社社内試験による。

■施工上の要点と注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 微細な骨材を配合しておりますので、エアレス塗装は避けてください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理 として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工してください。
- 繊維壁、耐火被覆用けい酸カルシウム板、ロックウールなどの非常にぜい弱な素材には塗装できません。
- 吸音板塗り替え用顔料分塗材(シールマットⅡなど)の塗り替えには使用できません。
- 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 素地表面のアルカリ度はpH9以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH−2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス(シリコン加工され水をかけると著しくはじくクロス)には塗装できません。塩ビクロスで可塑剤移行が考えられる場合は所定の仕様で塗装してください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項

ノキテンエース　白 　横倒禁止

・本来の用途以外に使用しないでください
・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
・必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
・取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
・適切な保護手袋/防毒マスクまたは防塵マスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
・飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
・取り扱った後、手を洗ってください。
・粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
・容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
・施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
・直射日光や水濡れは厳禁です。
・塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
・内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
□本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危　険	危険有害性情報
	飲み込むと有害のおそれ/強い眼刺激/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/水生生物に有害(急性)/長期的影響により水生生物に有害

日本ペイント株式会社

お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●当社は2014年10月現在ISO 14001を全事業所で認証取得しております。
●このカタログは再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

カタログNo. NP-S093
KE141008T
2014年10月現在